

桐生西ロータリークラブ週報

2008 - 09年度 R17 - マ

李東建 (Dong Kurn Lee) RI会長 夢をかたちに



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi
 会長 田崎 武夫 クラブ会報・雑誌委員長 片貝 良一
 幹事 栗原 幸三 委員 星野 幸男

No. 1694

2008年9月19日発行

第1797例会 (2008・9・12) 報告 (禁煙例会)

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1. 点 鐘 | 6. 食 事 |
| 2. ローターソング | 7. 委員会報告 |
| 3. 来訪者紹介 | 8. 卓 話 大間々高校校長先生 高瀬昇様 |
| 4. 会長報告 | 9. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 10. ローターソング |

ビジター

群馬県立大間々高等学校 校長先生 高瀬 昇様

会長報告 田崎会長

- 9月10日(水)、桐生プリオパレスで、桐生5RC 会長幹事会を行いました。主な議題が10月24日(金)の桐生5RC 合同夜間例会とチャリティゴルフコンペについてでした。各クラブのゴルフ部長にも参加して頂き、当クラブは近藤ゴルフ部長の他、符波SAAにも出席して頂きました。今年度当クラブが幹事クラブです。ゴルフコンペにも夜間例会にも大勢の皆様に参加して頂きたいと思っております。
- 昨日、赤城カントリー倶楽部で今年度第1回のゴルフコンペを開きました。18名の参加を頂きありがとうございました。優勝は五十嵐さんでした。近藤ゴルフ部長始め松原さん霜村さん、ご苦労様でした。
- 9月15日(月)の高津戸荘敬老の日のお祝いに、私と幹事で出席して参ります。

幹事報告 栗原幹事

本日は禁煙例会です。
 納涼家族会の決算書を配布致しました。
 先週も申し上げましたが、会員ショートスピーチと、出席100%表彰、誕生・結婚祝は次週行います。
 地区大会の出欠表を廻しますのでご記入下さい。参加者が少ないようですので、理事役員委員長様は極力参加して頂きたいと思っております。
 大間々高校模擬面接の写真と、面接を受けられた生徒さんの感想を、進路指導の桜井先生が提供して下さいましたので、ご覧下さい。
 わたらせ養護園チャリティショーのチケット購入のお願い。
 わたらせ養護園より「とんがりやね第141号」が届いています。
 例会変更のお知らせ
 伊勢崎東RC 9/22 富岡中央RC 9/25、10/9
 クラブ会報が到着しています
 桐生RC 9/8 桐生赤城RC 9/2 足利RC 8/1、8/8、8/22、8/29
食事メニュー 1076キロカロリー
 親子丼、秋刀魚と茸の和え物、香の物、けんちん汁、グリーンサラダ、本日のデザート

委員会報告

出席委員会 稲森委員長
 総数52名(免除者8名の内5名出席の為3名を除く)

出席率対象者49名、出席率対象者出席人数37名
 欠席者12名(内前メイク1名) 出席率77.56%
 前々例会修正出席率84.00% (最終欠席者8名)

ニコニコBOX委員会 花房委員長

大間々高校高瀬校長先生を歓迎します
 鈴木君、稲森君、下井田君、奥村君、家住君
 高瀬校長先生卓話ありがとうございます。楽しみにしています 田崎君、花房君、栗原君、乾君、片貝君、新木君
 近藤ゴルフ部長お疲れ様でした 中野君、天沼君
 ゴルフコンペお世話になりました 松原君
 櫻井君ありがとうございます 阿左美君
 ゴルフ優勝できました 五十嵐君
 五十嵐さん優勝おめでとうございます 霜村君
 櫻木、塚本、阿左美、天沼さん新宮祭お世話様でした 江原君
 江原さん地域のお祭りでのマジックショー出演お世話になりました 櫻木君
 9/6プリオパレス11店目の高崎店オープンしました 符波君

ロータリー財団委員会 松原委員

大間々高校高瀬校長先生を歓迎します
 稲森君、阿左美君、奥村君、鈴木君、新木君
 近藤ゴルフ部長お世話様でした 栗原君、天沼君、中野君
 ゴルフコンペお世話になりました 松原君
 18番の最終でロングパットが入りました 五十嵐君
 五十嵐さん優勝おめでとうございます 田崎君
 来週19日の例会出張の為欠席します。お手数をお掛けします 符波君

米山奨学委員会 阿左美委員長

高瀬校長先生を歓迎します 稲森君、奥村君、鈴木君
 高瀬校長先生先日は大変お世話になりました 符波君
 高瀬校長先生卓話宜しくお願いします 新木君
 近藤ゴルフ部長ご苦労様でした 阿左美君、家住君
 近藤ゴルフ部長お疲れ様でした 天沼君
 ゴルフコンペお世話になりました 松原君
 ゴルフ部の皆様大変ご苦労様でした 霜村君
 優勝できました 五十嵐君
 五十嵐さん優勝おめでとうございます 栗原君
 中野年度取り切り戦カップ頂きました。ありがとうございました 江原君
 正田さん「あすかホール」の納涼会ではお世話になりました 櫻木君

卓 話



群馬県立大間々高等学校

校長先生

高瀬 昇 様

「2つの話」

「子どもは未来からの贈り物」という言葉があります。教壇に立って三十年になりますが、子どもたち(高校生)から毎日、本当にたくさんのことを学んだり、力(勇氣)をもらったりしています。子どもたちは本当に宝物だと思います。子どもたちと直接ふれあうことができる私達教職についているものの特権であるとともに、子どもたちやその保護者、社会に対して大きな責任を負っていると思います。

社会が変化し、子どもたちの置かれている状況は昔と大きく変わり、昔と子どもたちが大きく変わったということを感じますが、本当にそうなのか。変わったのはなにか。一つ話を紹介します。

「教育力としての清貧」(内外教育)

上越教育大学 新井郁男教授(H8.12.6)

これは校長を退職して、今はボランティアとして外国の人たちに日本の文学を教えているN氏の小学校時代の思い出である。遠足の前日、先生から水筒を必ず持って来るように言われ、母親にそのことを告げると、母親は「水筒はないけど、おじいちゃんが何とかしてくれると言っているから安心して休め」と言われN氏は早めに床に就いた。戦争で父親が亡くなり、祖父が父親代わりをしていたのである。翌朝起きてみると、祖父が遅くまでかかって作った竹つつの水筒ができていた。水筒を買ってもらえると期待していたN氏は竹つつなど恥ずかしくて持っていけないという態度をとったが、お礼だけはと訴える母親の目を見て、形だけの礼を述べた。おじいさんは、「竹のかおりがしみこんでいるから、おいしいぞ」と言いながら渡してくれた。しかし、N氏としては、やはり竹つつの水筒などを持って行くことはみっともなく感じられ、途中で道ばたの草むらに隠して学校に行った。「水筒はどうしたの」という友達の詰問に「一日くらい水なんか飲まなかったって僕は平気だ」と強弁し、先生に背負ってもらったりしながら、遠足は無事終わった。ところが、草むらに隠しておいた竹つつ水筒が探しても見つからなかった。何と弁解しようかと迷いながらおそろおそろ家に着くと、母親が涙ぐんで竹つつ水筒を持って立っていた。近所の人が発見し、名前が彫ってあったので届けてくれたのであった。母親はさびしそうな顔をして、おじいちゃんはこのことは知らないから、水はおいしかったと話さなさいと言って、竹つつの水を一口飲んだ、続いて飲んだ水の味をN氏は今でも思い出す。

今も昔も、親の愛情、家族の愛情、地域の人の愛情が子どもの成長には必要であり、例え、社会が豊かになってもこれは普遍的なことではないかと思えます。子どもに注ぐ愛情が子どもの成長には、今も昔も少しも変わらず必要なことと思えます。

そして、子どもたちは、私達、大人とのやりとり、大人の様子を見ながら成長して来ていると思えます。

今の子どもたちの姿は、もしかしたら、私達大人がどんな気持ちでどのような形で生活してきたのか、それを子どもたちが見て、それが子どもたちの行動として映し出されているのかもしれない。

自分が一人の大人として、子どもたちに何ができるのかを考えたとき。特に今は「大間々高校」にお世話にな

っています。子どもたちは勿論のこと保護者、卒業生、また大間々高校にゆかりのある人たち全てにお世話になっているわけであり、子どもたちも含め、この方々が失望するようなことがあってはならないと思っています。皆に支えられて今の自分があるので、子どもたちのためにしっかりとやっていかなければと思う毎日です。

元気になる高校生の話を紹介して終わりにしたいと思っています。

「落ちた竹刀と少年の物語」(東京新聞)(96.5.2)

こんな騒がれるような事じゃないと思います。自然に体が動いただけなんですからと白根は言った。優しい眼をした高校生は晴れがましい席にちょっととまどっているようだった。先週東京新宿で開かれた日本フェアプレー賞授賞式に秋田高校3年の白根は受賞者の一人として出席した。ほかの受賞メンバーはマラソンやテニスの有名選手たちである。この剣道少年が選ばれたのは、去年6月のインターハイ秋田県予選での出来事が高く評価されたからだ。ライバルの秋田商業高校と団体戦決勝に先鋒として出たときのことだった。一本先取された後、面の打ち合いが決まらないまま相手の竹刀が肩口に引っ掛かって落ちた。こうした場合は一呼吸の間に一打までは打てる。団体戦の先鋒戦でしかも一本取られている。勝負を互角に戻す願ってもないチャンスが訪れた。だが、白根は打たなかった。それだけでなく、相手の竹刀を片膝ついて鍔元を持つという礼法にかなった所作で拾い上げ、これも礼法通りに両手で差し出して渡した。大事な試合の勝負よりとっさの判断で剣道の基本である相手への礼を優先したのである。結局、この試合白根は敗れ、団体戦も秋田高の敗戦となってインターハイ出場はならなかった。それでも秋田高校OB始めとする観客たちは感激した。その声が県連に届いて特別表彰となり、地元スポーツ紙の話題となり、今回の受賞につながったのである。こんな些細なことでもこんな大きな賞をもらって驚いています。と挨拶をしています。

メンバーは今!! No.3

阿左美博会員



阿左美さんは、平成11年12月17日

に入会し、平成18年羽鳥年度の幹事

を入会6年半後に引き受けて、持ち

前の積極性と誠実さを武器に見事

幹事職をこなした逸材である。彼は

誰とも気さくに会話することができ

るので、長老会員との何気ない話から

ロータリーの神髄を得ることができたのであろう。

彼は「新入会員も積極的に先輩会員のテーブルに着

き、折角の例会を大いに活用して話をしたら良い」と

勧めている。ただ、「ロータリーの楽しさは例会の出

席だけでは得られないかもしれない」とも話している。

「最近では通常例会以外でロータリー会員が飲んで話を

する機会が少なくなったように思うが、例えば情報集

会、納涼会、クリスマス家族会、夜間例会等の機会こ

そが個人的に親しくなれるわけで、是非積極的に参加

すべきである」と話した。

彼は会員の高齢化にともない、会員の減少に危機感

を持っており、会員が様々な方策で退会防止に努めて

いることを熱く語り、今後も西クラブの活動が減衰し

ないように努力すべきであると話した。

クラブ会報・雑誌委員長 片貝良一

《次例会予告》

9月26日(金) 外部卓話

前橋保護監察所桐生地区担当官 成瀬慎子様